



# 北区の部屋だより

2025年4月 第188号



刊行登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL.03-5993-1125 令和7年4月発行



北 区  
こぼれ話  
第188回

## 同じように見えても ～「工場のまち」北区の現在～



雑誌やTV番組の影響でしょうか、最近「北区の部屋」には飲み屋街として知られる赤羽について、「何で朝から飲める店が多いの?」といった問い合わせが頻りに寄せられます。これには、かつて「工場のまち」として栄えた北区の歴史が深く関係してくると思われるのですが、そもそも、北区で工業が盛んだったことをどのくらいの方がご存知でしょうか。

戦前から隅田川や新河岸川沿岸には大規模な工場が建ち並んでいましたが、戦後になっても工場は増え続け、昭和30年(1955)に1,356だった工場数は、高度経済成長期にあたる昭和43年(1968)には3,356にも達しています(『新修北区史』東京都北区、1971年、1067頁)。その後は、地価の高騰や工業用水確保の問題、住宅地が隣接することで生じる公害問題など様々な理由で工場の移転が進み減少していきませんが、それでも平成5年(1993)の段階で「隅田川や新河岸川沿いを中心に出版・印刷・同関連産業、化学工業、一般機械器具製造業などを中心に多くの工場が活発な操業活動を続け」(『区政概要93』、産業・経済「あらまし」)、1,793の工場が区内にありました。



写真：1960年代隅田川沿い神谷橋付近の工場群

そして現在はというと工場数は215にまで減っています。かつて北区の産業の大きな部分を占め、現在でも産業別では最も多い工場数の出版・印刷・同関連工場でも386から63に減っており、金属製品製造工場は216から23、電気機械器具製造工場は109から12と10分の1程度にまで減少しています(現在の数は令和3年(2021)段階のもの、令和6年<2023>9月発行『北区行政資料集』)。「昔、北区は工場のまちだったんだよ」といってもピンとこない人が増えているのも当然なのかも知れません。これはいい、悪いといった話ではなく、北区という地域が担ってきた社会的な役割が変わってきたことを示しているのです。

さて、話を冒頭に戻しましょう。何故、赤羽に朝から飲める店が多いのか。かつては工場で働く労働者、取り分け夜勤明けに一杯やる客たちに応えるため朝から営業している店が多かったといえます。しかし、現在の北区は工場数の現状が示すように「工場のまち」ではなくなってきています。すなわち、赤羽の飲み屋さんたちも全く別の理由で朝から営業しているということになるのです。ここでその理由を探ることはしませんが、現象としては同じでも、その理由や意味が全く異なっていることもあるのです。

【地域資料専門員 保垣孝幸】

北区の部屋  
今月の展示

## 「古写真の場所を求めて～あなたも名探偵～」

- 展示期間 3月29日(土)～4月23日(水)
- 展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー



古い写真をもとに、その場所を探しながら歩いてみるのはいかがでしょうか。画像に移り込んだものを手掛かりにして場所を特定して歩くのも探偵気分が面白いと思いますよ。



古文書入門講座「古文書って面白い！」

開催のお知らせ

## 中止のお知らせ

北区ニュース3月20日号でお知らせいたしました「古文書入門講座『古文書って面白い!』」は、諸事情により「中止」となりました。  
振替開催は未定です。申し訳ございません。

北区の旧家に残  
ついて学習しま  
\*日時 令和7  
14時  
\*場所 中央区  
\*講師 保垣孝  
\*対象 北区在  
\*定員 20名  
\*申込 往復は  
記入の

歴史に

がき記入例)

講座名  
〒住所  
氏名(ふりがな)  
年齢、電話番号

返信面 表面 往信面 裏面

## 講演会・講座、開催しました!

① 歴史講演会 2月22日(土)

「北区域の紡績業と渋沢栄一～下野紡績株式会社をめぐって～」

渋沢史料館館長 桑原功一氏をお招きし、歴史講演会を行いました。

製紙業のイメージが強い北区ですが、紡績業にも関わっていたことにクローズアップしたお話をしていただきました。

「今まで知らなかった北区での紡績業について知る事ができてよかった」

「とても話が聞きやすくて、あっという間に時間がきていました」等の感想をいただきました。  
桑原 功一氏



② 公開歴史講座 3月8日(土)

「北区の旗本」

当館の地域資料専門員 保垣孝幸講師による公開歴史講座を行いました。

北区にどのくらいの旗本があり、どんな暮らしぶりであったのか等、古文書を読み解きながら、講座が進んでいきました。こちらでも大変好評で、「時代小説が好きなのでとても大変興味深かったです」「旗本と土地の人々との様子がわかってよかった」等の感想をいただきました。



保垣地域資料専門員